

## 令和4年度第2回逗子市国民健康保険運営協議会（書面会議）議事録

- 1 日 時 令和4年7月29日（金）～令和4年8月19日（金）
  
- 2 審議委員 濱卓至委員、高津恵一委員、小清水時子委員、  
山上篤志委員、池上晃子委員、松澤修司委員、宮城高次委員
  
- 3 議 事
  - (1) 報告事項1  
令和3年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算（案）について
  - (2) その他
  
- 4 会議概要  
議事について、令和4年7月29日～8月19日の期間、7人の委員全員から回答が得られた。
  
- 5 委員からの質問・意見及び事務局回答  
別紙のとおり

委員からの質問・意見及び事務局回答

1 (報告事項1) 令和3年度逗子市国民健康保険事業特別会計歳入・歳出決算(案)について

No.	質問者	質問・意見	市の考え方
1	小清水委員	歳出の「傷病手当金」について、支給件数が4件と少ないが、周知の手法等に問題はなかったのか。	<p>傷病手当金の支給については、新型コロナに関する緊急対応策として、国が全額財政支援のもと令和2年5月から始まっています。</p> <p>保険料決定通知書へのパンフレット同封並びに市ホームページ及び広報誌へ掲載するなど、制度に対する周知は行ったところですが、支給要件として「給与の支払いを受けている者」とあり、その多くは被用者保険(社会保険)の加入者となることから、国民健康保険における対象者は少ないこととなります。</p>
2	山上委員	歳出の「保険給付費」について、医療費の削減のためには、腎不全や糖尿病など重症化予防が必要と考えるが、市では具体的にどのような取り組みを行っているのか。	<p>国保保健事業として、特定健診結果を基に、糖尿病治療域にあたる人や糖尿病性腎症が疑われる人、糖尿病の未治療・中断が疑われる人への受診勧奨及び保健指導を実施しています。昨年度より、糖尿病治療域に該当する後期高齢者に対しても同様の取り組みを開始しました。広く市民を対象とした健康栄養相談では、糖尿病を含めた生活習慣病等に係る相談業務を保健師や管理栄養士が担っています。</p>
3	宮城委員	<p>歳出の「保健事業費(特定健康診査等事業費)」について、令和元年度(コロナ禍前)から令和3年度までの特定健診受診率の推移はどうなっているか。</p> <p>また、医療費の削減、重症化予防のためにも、特定健診受診率の更なる向上が必要と考えるが、市ではどのように考えているのか。</p>	<p>令和元年度32.1%、令和2年度26.1%、令和3年度31.2%(速報値)となっています。(令和2年度は緊急事態宣言等により、健診を中止していた期間もあります。)また、生活習慣病の予防、早期発見・早期対応のため更なる特定健診の受診率向上が必要と考えています。そのための取り組みとして、未受診者に対する勧奨はがきの送付、特定健診の初めての対象となる40歳の人を対象とする電話かけによる勧奨を実施しています。この他、自己負担なく特定健診を受けられるよう無料化を検討しています。</p>